

HUMAN / CODE

Re-membering the past, Re-imagining the future

再編成される過去と再投影される未来

THE ENSEMBLE

落合陽一 × 小川加恵 × Starc × 藤倉大

古楽器 × メディアアート × 身体パフォーマンスが織り成す“人間性”の協演！

Human / Code Ensemble ヒューマン・コード・アンサンブル 演出 | 落合陽一 Program | ロワイエ: めまい、J.S.バッハ: 半音階的幻想曲とフーガより、モーツァルト: 幻想曲K397、ベートーヴェン: 悲愴、月光より、ショパン: ノクターン 遺作、藤倉大: 委嘱作品(世界初演)ほか

2022.11.3 [祝・木] 15:00 開演 (14:30 開場) / 11.4 [金] 17:00 開演 (16:30 開場) 会場 | 神奈川県立音楽堂

主催 | ヒューマン・コード・アンサンブル実行委員会 共催 | 神奈川県立音楽堂 指定管理者: 公益財団法人神奈川芸術文化財団 助成 | 公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人花王・芸術・科学財団、公益財団法人関西・大阪21世紀協会万博記念基金、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツほか 協力 | Emohaus inc.ほか
機材提供・技術協力 | 株式会社セイビ堂(LED vision)、凸版印刷株式会社、ローランド株式会社 企画協力 | 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 (Sony CSL Music team)



令和4年度(第77回)
文化庁芸術祭参加公演

公益財団法人 花王 芸術・科学財団



EXPO'70 FUND
Kansai Osaka 21st Century Association

Australian Government

Australia
Council
for the Arts

YAMANASHI
CULTURAL FOUNDATION
山梨文化財団

photo © Yoichi Ochiai

HUMAN / CODE ENSEMBLE

演出 | 落合陽一

Human / Code Ensemble ヒューマン・コード・アンサンブル

古楽器×メディアアート×身体パフォーマンスが織り成す“人間性”の協演！

人間拡張によって惹起される新たな感覚を体感せよ。

メディアアーティストの落合陽一が、フォルテピアノ奏者の小川加恵、身体パフォーマンスアーティストのステラークと共にポストコロナ時代に拡張された人間の「身体性」をテーマに、近未来の新たな「ヒューマニティ」のかたちを描き出します。バロック音楽から現代の作曲家・藤倉大が本公演のために書き下ろす世界初演作品まで、古楽器とAI/ロボティクス/IoA/等、新旧テクノロジーの共創によるこれまでにない、新しいアンサンブルの共鳴をぜひ体験ください。

人とコード、計算機と人間のアンサンブル、新しい自然と新しい人の新しいアンサンブルとは何か考え続けている。JCRリクイダーが人間とコンピュータの共生をテーマに論文「Man-Computer Symbiosis」を書いたのは1960年のことだった。その後も人とコンピュータの共生は続き、インターネットの発達以後、コンピュータは人の社会性を維持するための環境要因として現代の人類に必要不可欠なものになっている。計算機は遍在し、同時に人の身体もデジタルに変換され、今この世界に遍在する。

出演

落合陽一

メディアアーティスト

小川加恵

チェンバロ/フォルテピアノ

ステラーク

パフォーマンスアーティスト

2022

11.3 [祝・木]

15:00開演 (14:30開場)

11.4 [金]

17:00開演 (16:30開場)

チケット | 大好評発売中

全席指定 一般 ¥7,000 学生席 ¥3,500 (24歳以下)

チケット取扱 | チケットかながわ 0570-015-415 (10:00-18:00)

チケットぴあ <https://pia.jp/> (Pコード: 220-292)

イープラス <https://eplus.jp/>



チケット
取扱情報

コンサートホールでの「体験拡張」ほか、クラウドファンディング READYFORでのご支援受付中！
<https://readyfor.jp/projects/hce2022>



ステートメント
全文



photo: Mika Ninagawa

落合陽一 | メディアアーティスト | 1987年生まれ、2010年ごろより作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学准教授、デジタルハリウッド大学特任教授。2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)テーマ事業プロデューサー。近年の展示として「おさなごころを、きみに(東京都現代美術館、2020)」、「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs (北九州、2021)」、「Ars Electronica Festival(オーストリア、2021)」、「Study: 大阪関西国際芸術祭(大阪、2022)」、「遍在する身体、交錯する時空間(山下部長美術館、2022)」など多数。また「落合陽一×日本フィルプロジェクト」の演出など、さまざまな分野とのコラボレーションも手がける。<https://yoichiochiai.com>



photo: Shigeto Imura

小川加恵 | チェンバロ/フォルテピアノ | 東京藝術大学、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修了。第16回ファン・ワセナール国際古楽コンクール(オランダ)第1位受賞。ヨーロッパの主要な古楽音楽祭に出演し、日本国内においても各地の主要コンサートホールによる主催公演に多数出演。その他、テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」など、メディアへの出演も多い。また2021年にはアーリーミュージックエンタープライズ株式会社を設立し、新たな体験を創出するクラシック音楽事業の企画・プロデュースも手がけている。<https://www.kaegawa.com>



photo: Dean Winter

ステラーク | パフォーマンスアーティスト | オーストラリア出身のパフォーマンスアーティスト。1970年代より19年程日本に居住し活動。バイオテクノロジー、メディアカル・イメージング、人工物やロボット工学等を包括し、身体の具現化と媒介、アイデンティティ、ポストヒューマン等の問題を問うような作品を50年以上に渡り制作。代表作は日本のロボット工学者と共同制作した「第三の手 Third Hand」。また、現在進行形で、インターネットへの接続を可能とする「エクストラな耳 Extra Ear」を自身の腕に埋め込み外科的に構築(2010年フランクフルト・アルスエレクトロニカ、ハイブリッドアート部門のゴールデンニカを受賞)。近年も精力的に新作に取り組んでいる。<http://stelar.org/>



photo:
Yuko Moriyama, otocoto

藤倉 大 | 作曲 | 大阪生まれ。15歳で単身渡英しベンジャミンらに師事。数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。15年にシャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱によるオペラ「ソリス」を世界初演。19年に尾高賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。20年にオペラ《アルマゲドン》を新国立劇場で世界初演。数々の音楽誌において、その年のオペラ上演におけるベストに選出された。近年の活動は多岐に渡り、リモート演奏のための作品の発表や、テレビ番組の作曲依頼も多数。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルや自身が主宰するMinabel Recordsから、楽譜はリコルディ・ベルリンから出版されている。<https://www.daifujikura.com/>

●木のホール

神奈川県立音楽堂



〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

tel.045-263-2567

●JR 桜木町駅 南改札西口、

北改札西口から徒歩10分

●横浜市営地下鉄 桜木町駅

南1番出口から徒歩10分

●京浜急行 日ノ出町駅から

徒歩13分

●みなとみらい線 みなとみらい駅から

徒歩20分

開場・開演前に無料シャトルバス運行

11月3日 [祝・木] 出発時間 ① 14:05 ② 14:20 ③ 14:35 ④ 14:50

11月4日 [金] 出発時間 ① 16:05 ② 16:20 ③ 16:35 ④ 16:50

運賃無料/予約不要/当日先着順

タクシー降車場「貸切バスのりば」より発車

「神奈川県立音楽堂」提示があるバスです

※神奈川県立音楽堂では感染症専門家の指導、開場の換気能力等に鑑み新型コロナウイルス感染予防策に取り組んでおります。最新情報を音楽堂オフィシャルサイト等で確認の上ご来場くださいますようお願い致します。

※やむを得ず公演中止や出演者、曲目等の変更が生じる場合があります。



シャトルバス